



サイエンスによる知的ものづくり教育プログラム

トップエスイー

実践と理論を融合したソフトウェア教育

最先端ソフトウェア 技術の学習

最新の研究の知見に基づく、最先端のソフトウェア工学理論とNIIが運用するクラウドの設備を用い、ソフトウェア構築技術を学習します。

現場に適用できる 実践演習

開発現場で向き合うような事例を取り上げる実践的な演習をとおり、習得した技術を業務に展開できるレベルまで高める実践的な学習を行います。

問題発見解決力の 養成

業務上の問題をモデル化し、解決策を打ち出し、評価する修了制作をとおり、モデリング技術に基づく問題発見解決の実践力を養います。修了制作には、講師が3~6ヶ月にわたり密接に指導します。

2016年度 第11期生募集

▼講座説明会

第1回 2015.10.08 木

第2回 2015.11.27 金

▼受講申込受付期間

2015.11.04 木 ~ 12.11 金

▼選考試験

2015.12.22 火

募集人数 約50名

受講料 年間557,280円(税込)

募集案内および募集要項は、トップエスイーのウェブサイトをご覧ください。
http://www.topse.jp/entry_info

- 第1~9期修了生 計247名、第10期受講生42名
- 一般の方と協賛企業推薦の方では、募集要項が異なりますのでご注意ください。
- 科目単位で受講することもできます。
- 講義見学は随時受け付けております。

ビッグデータ時代のソフトウェア工学教育

■遠隔受講制度

東京での講義に参加できない方のために、遠隔受講制度があります。教室での講義を双方向インターネット配信により、リアルタイムで受講。修了制作*も可能です。

※数回の東京出張は必要になります。

■大学院との連携

電気通信大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学に、トップエスイー修了生が博士号を取得しやすい制度が導入されています。また、情報セキュリティ大学院大学の講義が履修できます。

■英国大学との共同PBL

グローバル人材の育成をめざし、世界トップレベルにあるUCL(University College London)との共同PBL(Project-Based Learning)を行っています。

【協賛企業】※2015年6月現在 ※五十音順

株式会社あくしゅ
株式会社アフレル
アマゾンデータサービスジャパン株式会社
株式会社アライドエンジニアリング
イーソル株式会社
株式会社インサイトテクノロジー
株式会社インテック
SCSK株式会社
エスピー食品株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社
NTTコムウェア株式会社
NTTソフトウェア株式会社
株式会社NTTデータ

株式会社NTTデータMSE
NTTデータ先端技術株式会社
株式会社NTTデータユニバーシティ
株式会社オービス総研
ガイオテクノロジー株式会社
鹿島建設株式会社
キャッツ株式会社
キャノン株式会社
株式会社クニエ
株式会社クレスコ
株式会社セールスフォース・ドットコム
ソフトバンクモバイル株式会社
TIS株式会社

テクマトリックス株式会社
株式会社デンソー
株式会社東芝
東芝ソリューション株式会社
日本オラル株式会社
日本電気株式会社
日本電子計算株式会社
日本ユニシス株式会社
株式会社野村総合研究所
パナソニック株式会社
株式会社日立製作所
フェリカネットワークス株式会社
株式会社フォーマルテック

富士通株式会社
株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ
株式会社富士通研究所
株式会社ボイスリサーチ
株式会社豆蔵ホールディングス
みずほ情報総研株式会社
三菱スペース・ソフトウェア株式会社
株式会社三菱総合研究所
三菱電機マイコン機器ソフトウェア株式会社
メルコ・パワー・システムズ株式会社
リコーITソリューションズ株式会社
株式会社レベルファイブ
株式会社ワザビ・コミュニケーションズ

「講義」+「修了制作」により、スーパーアーキテクトの必須要件である複雑なシステムを適切にモデル化する能力を養成します。

講義 共通科目および6つの専門コースに属する科目から構成。1～2コースの集中的な選択を推奨。

専門コース

要求工学コース

要求定義とは作成するソフトウェアの意味を規定することであり、これを支援する要求工学には様々な技術が含まれます。これらの技術要素を4つの技術領域に分類し各領域の代表的な手法を系統的に学びます。

■開設科目

要求工学入門
問題指向要求分析
業務アプリ向けシナリオ分析
概念モデリング
ゴール指向分析
安全要求分析
ビジネス要求分析(不定期)
オブジェクト指向分析
エージェントモデリング(不定期)
構造化分析法

アーキテクチャコース

オブジェクト指向に基づき、機能・非機能要求を、システムの構造や振る舞いを表すモデル群に落とし込み、さらに一貫性、追跡性、可変性などの品質を、開発の早い段階から作り込む技術を学びます。

■開設科目

コンポーネントベース開発
ソフトウェアパターン
アスペクト指向開発
モデル駆動開発
ソフトウェア再利用演習

モデル検査コース

システムの取りうる状態を効率的に全数検索することでその安全性を検証する、モデル検査技術を学びます。各種ツールの使い方だけではなく、システムの振る舞いを数学的にモデル化する能力を養成します。

■開設科目

設計モデル検証(基礎編)
設計モデル検証(応用編)
並行システムの検証と実装
実装モデル検証
性能モデル検証
モデル検査事例演習

形式仕様記述コース

ソフトウェアの仕様を数学的基盤のもとに厳密に記述し、検証するための技術である形式仕様記述を学びます。基本テクニックから、システム開発における適用例までをカバーします。

■開設科目

形式仕様記述(基礎・VDM編)
形式仕様記述(Bメソッド編)
形式仕様記述(Event-B編)
形式仕様記述(実践編)
定理証明と検証
プログラム解析

クラウドコース

教育クラウド上での演習を通じて、MapReduceなどビッグデータ解析を支える技術だけでなく、OS、ネットワークなど、クラウドコンピューティングを支える多様な基礎技術を身につけます。

■開設科目

クラウド入門
クラウド実践演習
クラウド基盤構築演習
分散処理アプリ演習
分散システム基礎とクラウドでの活用
ビッグデータ管理入門

プロジェクトマネジメントコース

プロジェクトマネジメントを成功させるには多様な資質が必要です。本コースでは「サイエンスに基づくプロジェクトマネジメント」の側面を強調し、アーキテクトが身につける必要のあるプロジェクトマネジメントの諸技術を学びます。

■開設科目

ソフトウェアの品質向上手法通論
ソフトウェアメトリクス
ソフトウェア開発
見積もり手法
リスクマネジメント
ソフトウェア設計法通論
プロジェクトマネジメント支援ツール

※開設予定、仮称

共通科目

■開設科目

基礎理論

ソフトウェア工学入門

テスト(基礎)

テスト(応用)

セキュリティ概論

アジャイル開発

ソフトウェアの保護と著作権

※シラバスは <http://www.topse.jp/curriculum/list> でご確認ください。 ※開設科目は予定です。変更されたり、年度により実施されないことがあります。

※一部の講義は特別講義(単位認定無し)として実施されます。

修了制作

年度後半の3～6ヶ月の期間で、担当講師の指導のもと、修了制作を行います。受講生自身が業務経験などに基づいた問題を設定し、選択した専門コースの講義で学んだ科学的アプローチ(手法・ツール)を活用、拡張し、問題解決を行います。

◆共同研究への発展

修了制作完成後、担当講師との共同研究として、さらに研究をすすめることができます。

◆博士研究への発展

電気通信大学大学院や北陸先端科学技術大学院大学に設置されているトップエスリー修了生向けの博士課程や、担当講師が所属する大学院に進学し、研究を進展させて学位を取得する道が開けています。

【修了制作例】

- ▶ MALSS:機械学習支援ツール
- ▶ 組込みソフトウェアへのKobrA法の適用
- ▶ インクリメンタル型ソフトウェア開発の品質予測
- ▶ モデル検査技法を用いたビジネスプロセス検証
- ▶ フィーチャ分析と充足可能性判定を用いたシステムテストに向けたシステム構成導入
- ▶ テスト実行履歴に基づくテストケース生成手法の提案
- ▶ ユーザ企業における、要件定義プロセスの標準化提案

修了制作の成果は下記にて公開しております。
<http://www.topse.jp/curriculum/posters>

年間スケジュール

トップエスリーの課程は1年間で修了できます。
1年半、2年のオプションもあります。

2月	開講前講義	
3月		
4月	第1学期	
5月		
6月	第2学期	
7月		
8月	集中講義	
9月		
10月	第3学期	修了制作Ⅰ
11月		
12月	第4学期	
1月		修了制作Ⅱ
2月		
3月		修了制作審査会

【講義】月～金(1日2コマ)18:20～19:50/20:00～21:30
土曜、集中講義:原則として4コマ(10:30～18:00)

【修了制作】修了制作Ⅰまたは修了制作Ⅱを実施。Ⅰ、Ⅱの期間を合わせて6ヶ月で実施することも可

Greeting from the Leader



国立情報学研究所 副所長
トップエスリー代表
本位田 真一

トップエスリープログラムによるソフトウェア技術者教育は、基礎となる理論と実践的な演習の両方を重視した内容によって、各方面から高い評価をいただいております。年々内容を充実させ、ビッグデータ時代の要請に耐える世界最高レベルのソフトウェア工学教育を提供していると自負しています。未来のスーパーアーキテクトを目指される皆様の参加をお待ちしております。

最高の受講環境



ソフトウェア工学の 実践的な学習

基礎理論からビッグデータ分析まで最新のソフトウェア工学を学び、クラウド環境で実践し、得た知見を以て、実務の問題を鋭い研究者と議論します。



グループ演習に適した 講義・演習環境

壁一面のホワイトボードと多数のプロジェクトを備えたグループワーク環境と、講義映像のリアルタイム配信および講義映像と資料のアーカイブにより受講生に多くの学習の機会を提供します。

オンラインで視聴できる 講義動画ライブラリ



トップエスリーの講義やソフトウェア工学に関するセミナーの映像とスライドを同期させたシンクロコンテンツを“開発深知”で公開しています。
<http://devshinchi.jp>